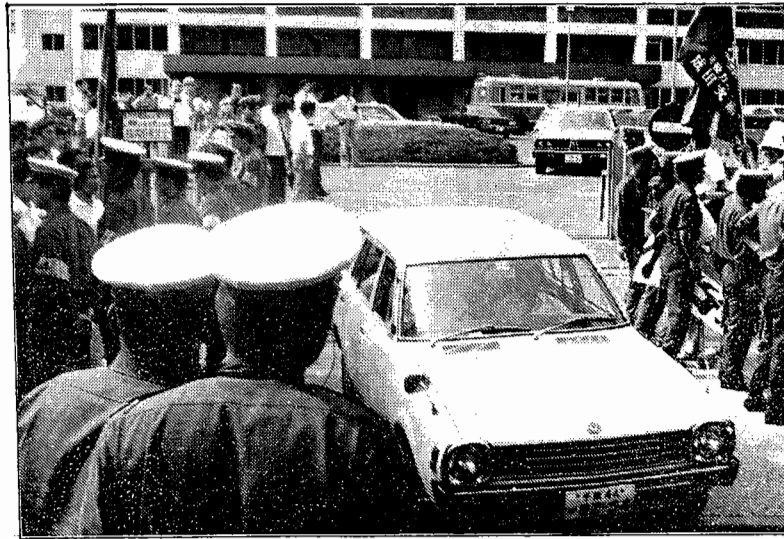


三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎!

6名の仲間を即時釈放せよ

10日間の勾留延長を弾劾!



ものものしい警備の壁に抗して、「ガンバレよ!」と身をのり出して声を限りの激励に、車の中から元気な笑顔と返事が返ってきた。(7月17日、14時40分ごろ。千葉地裁正門前にて)

千葉地裁は、十七日午後、片岡支部長以下六名に対する十日間の勾留延長を全面的に認めるという極めて反動的な決定を下した。われわれは、千葉県警・千葉地裁・千葉地検一体となった動労千葉つぶしの弾圧に勾留延長攻撃を怒りをもって弾劾する。われわれは、猛暑の中で、検事のきびしい取り調べに對し、完黙をつらぬいてがんばっている六名を絶対に守り抜かなければならない。そして、早期釈放と不起訴をなんとしてもかちとらなければならない。

千葉地裁の十日間の勾留延長決定に怒りの糾弾闘争を貫徹

不当逮捕された六名の仲間に対する十日間の勾留延長か、即時釈放かの決定が行なわれる十七日、われわれは、前日に引きつづき早朝九時過ぎより千葉地検及び千葉地裁前に全支部から六〇名をこえる組合員が結集して「不当弾圧粉碎・即時釈放」の闘いに決起した。

炎天下をものともせず、地裁正面にすえつけた宣伝車は、ポリウムを一ぱい上げて「不当弾圧糾弾・即時釈放」を訴え、路上では、動労者が通行人に一人づつつきつきとピラを手渡す。

千葉地裁には、機動隊・私服などを配置して、ものものしい警備態勢がしかれている。われわれは、六名の仲間を激励するため、地裁正面に集合。宣伝車でシュプレヒコール・宣伝をくりかえす。

十二時二〇分ごろ、六名を乗せた車がつきつきと到着。期せずして、全動員者から「ガンバレよ!」と一台、また一台と地裁に入る六名を乗せた車にむかって激励の声がとぶ。車の中から元気そうなる一人一人の顔がこちらを見て、通りすぎる。また、宣伝車で「不当逮捕弾劾・即時釈放」「ガンバレ」のポリウム一ぱいの声が地裁にむかって発せられる。

十三時すぎ、地裁内で六名の仲間と接見を終えた弁護団から①六名は、完黙で闘い抜いている②皆んな元気だった③宣伝車での激励は、警察署の

81. 7. 20

No. 797

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)四三二七二〇七

中にもよく聞えた。などの報告を受け、地裁決定が行なわれるまでしばらく待機。この間、社会党県本部と動労千葉による県警に対する不当弾圧抗議の申し入れが行なわれる。

十四時四〇分ごろ、地裁正面から六名の仲間を乗せた車が出て行く。千葉地裁は、反動的にも千葉地検の勾留延長を認める決定を下したのだ。再び六名の仲間への激励と千葉地裁・千葉地検に対する抗議のシュプレヒコールをたたきつける。

最後に、布施副委員長の動労千葉闘争委員会を代表した決意表明と第十六回支部代会議の決定にもとづく具体的行動方針が明らかにされ、十七日の激励と抗議の行動を終った。

「組合を脱退しろ」「組合はとんでもなく」「このままだと出られなく」

六ヶ所に分散留置された六名の仲間に対する警察当局の取り調べと追及は、文字通り、動労千葉破壊・組合つぶしをねらったものとして、行なわれていることがこの間の弁護団の接見の中で明らかとなっている。

「組合はとんでもない」「早く自分のことだけしゃべれ、このままだと出られない」「やったと認めて、役員をやめろ」「組合を脱退しろ」などなどはつきりと動労千葉つぶしをねらった攻撃だ。その上、「お前の奥さんは、勤め先をやめさせられた」などと、完黙をつらぬく仲間に対して全くのデマを流して動揺させようとしているのだ。

動労「本部」反動分子のデッチ上げ告訴・告発を受けて、動労千葉つぶしの絶好のチャンスとして権力がありとあらゆる手段をつかって六名の仲間を襲いかかってくるのである。

われわれは、こうした権力の攻撃に完黙をつらぬいて闘っている六名の仲間を完全に守り抜き、動労「本部」反動分子・権力一体となった動労千葉破壊攻撃を粉碎しよう。

激励先

千葉県船橋市前原西一―三三一―
国鉄津田沼電車区内
国鉄千葉動力車労働組合
津田沼支部 行

抗議先

①千葉市中央四―一― 千葉市中央四―一―
千葉地方検察庁 千葉地方裁判所
佐々木検事 多田判事

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!